

# グリーンスポーツ鳥取

## 平成 16 年度総会議事録

開催場所	湖山西地区公民館 大会議室		
開催日時	平成 17 年 8 月 21 日午後 3 時		
会員総数	55 名		
出席会員数	40 名		
内訳	本人出席	14 名	
	委任状出席	26 名	

### 1. 開会挨拶

スミス理事長により開会の挨拶があった。

### 1. 議長選出

定款の規定により会員谷尾洋介氏が就任し、本日の総会は定数を満たしたので有効に成立した旨を告げ、議案の審議に協力を求め、審議に入った。

## 平成 16 年度事業報告

### 1. 事業報告及びグリーンフィールド利用

スミス理事長より一般利用、スポーツクラブ利用及び住民主導のイベント利用が順調に拡大し、芝に対する理解と認識が深まり、行政も以前より緑化に対する姿勢が良くなっているが、GST が公的の援助（補助金や助成金）を受けない主義である結果、財務状況が相変わらず厳しいとの報告があった。

### 1. 整備及び校庭・空き地芝生化支援事業について

中野理事より夏芝の植え付け、冬芝のオーバーシーディング作業及びその後の維持管理の説明が報告された。

また、今年度から始まった学校や空き地の芝生化支援事業についての報告があった。

### 1. EASE フットボールクラブ

代表寺坂理事より会員が 100 人程となり、年齢別に 6 チームがあり、各々が週 2 回程度の練習とリーグ、交流、大会等の試合をやっているとの報告があった。

### 1. 湖山ラグビーフットボールクラブ

キャプテン福田理事より昨年 9 月から活動が始まり、県内外の相手を含めて対外試合を 3 試合こなしており、4 月末のシーズン終了時点で 10 歳から 57 歳までの会員 25 名がいる。

### 1. 湖山西地区住民から見た GST

池田理事より住民から見た GST の活動及びグリーンフィールドに対する感想及び GST に対する期待事項の報告があった。

また山根理事より鳥取市役所との間での公衆トイレ設置交渉状況の報告があった。

### 1. 決算報告

平成 16 年度の決算報告があった。

### 1. 会計監査報告

法人の監査である井上氏より「諸帳簿及び証拠書類を監査した結果、適正且つ正確に処理

されていることを認める」との報告があった。

#### 1. 承認

特に質問及び異議がなく、決算報告及び監査報告が満場一致により承認された。

#### 1. 理事の移動

理事の内、2名が一身上の都合により辞任し、後任に新たに2名が就任し、現在は定款の理事8名定数を満たしているとの報告があった。

### 平成17年度事業計画

#### 1. 17年度の事業計画

地域密着型スポーツクラブの育成の場として整備や維持管理を実施し、サッカーとラグビークラブの会員をさらに増やし、同時にニュースポーツの普及に着目すること、また、地域住民の生活の中の「芝生の広場」の利用をさらに高めることによって、学校校庭・空き地芝生化の支援活動に力を入れるとの報告があった。

#### 1. 整備について

引き続き、活発になってきている利用によって痛んだ箇所の補修以外は芝刈を中心とした維持管理の継続と、グリーンフィールドの利用希望者（特に団体）に対しての協力をしていくべきであるとの報告があった。

#### 1. EASEフットボールクラブ

年齢別のチームが出来、各レベルでのリーグ戦、大会出場、EASE主催の大会及びリーグ戦の参加を通じて、楽しみ重視と競技志向の両方を重ね備えたクラブ構造を目指し、2009年までに、会員目標300人を設定している。上位社会人チームの選手が幼児、小学生チームのコーチを努めるなど、クラブ内の連携を強める動きがある。また、当広場に訪問する各種スポーツチームの代表者には芝生のグラウンド作りを促す努力もしていくとの報告があった。

#### 1. 湖山ラグビーフットボールクラブ

9月から第3シーズンに向けて、小中学生の会員を増やす活動をし、クラブの底辺拡大を図ると同時に、社会人レベルでは9月、11月、12月にすでに県内外チームとの交流試合が予定されており、試合を多くする計画があるとの報告があった。

#### 1. 湖山西地区住民

地元住民との連携を深める為には、一部で懸念されている犬の放し飼い及び、ゴルフの練習に対するGSTの考えの説明会を設けるべきではないか。学校の校庭芝生化を進める手段として、湖山西小学校の運動会をグリーンフィールドで開催したらどうかと言う意見がでました。地元の利用を増やすには、地元の色々な団体と定期的に会合を設けた方が良いとの意見があった。

#### 1. 17年度予算案

平成17年度の予算案が提出された。

#### 1. 17年度役員について

任期の最中であり、定員を満たしていると報告があり、現在の理事で続ける事との報告があった。

#### 1. 質疑応答

出席者から事業計画書で計上されたグラウンド・リースの定義、また校庭・空き地緑化事業での15%の諸経費収入の扱いについて質問があった。グラウンド・リースよりは機材リースと言う表現の方が適切と理事長からの説明があり、井上幹事より経費の扱いについてはま

だ金額が少ないので収入として計上はしていないが、将来に向けて県庁の協働推進室（NPOの担当部署）と相談するとの説明があった。

それ以外の質疑はなかったため、17年度予算案が満場一致で承認された。

#### 1. 議事録署名人

議長は、出席している会員の中から議事録署名人を指名したい旨を述べ、これを議場に諮ったところ、満場意義なく賛成があったので、次の者を議事録署名人に指名した。

会員	ニール スミス
会員	中野 淳一

以上で本日の議事を終了し、議長は午後4時30分に閉会を宣した。

#### 1. 議長解任

決議事項等が終了したため、議長が解任された。

#### 1. その他

県芝組合の村岡会長（GSTの会員）より、生産地の校庭緑化においてのバミューダの利用に対して、生産者が成長の早いバミューダがコウライやその他の製品に混入し、その商品価値を下げるのではかとの不安を抱いている。その点を考慮してほしいとの意見があった。中野理事が現在進めている混入実験を続けると同時に、引き続き県芝と密に連絡を取る事に対応するとの話があった。グリーンフィールドの維持管理での目土代はどこに計上されるかとの疑問があり、理事長より計上する程の目土を入れないとの説明があった。

谷尾会員より、GSTが進めている校庭・空き地緑化事業をもっと広く広報する方法を考えるべき、別地区で同じ活動をしたい住民に対する支援をもっと積極的に行うべきとの意見があった。それに対して理事長からは積極的にマスコミ（新聞、テレビ等）を利用しており、県及びNPO関連のHPでかなり紹介されており、すでに県内外からの問い合わせが多くあり、12月上旬には全国地域スポーツクラブサミットでの基調講演をする予定となっているとの説明があった。

平成17年8月29日

特定非営利活動法人グリーンスポーツ鳥取年次総会において

議長 谷 尾 洋 介 印

会員 ニール スミス 印

会員 中 野 淳 一 印